



写真集

日本軍艦史

1. 明治編

目次

写真頁

- 1. 海軍創設期 解説/長谷川均——4
筑波4 乾行5 撰津5 千代田形6 春日6 富士山6 東7 第一丁卯7
第二丁卯7 孟春8 鳳翔8 龍驤8 日進9 雲揚9 肇敏9
- 2. 日清戦争終結まで 解説/古坂典久——10
浅間10 石川11 清輝11 雷電11 天城11 扶桑12 金剛12 比叡12 館山13 磐城13
迅鯨13 筑紫14 海門14 天龍14 敵傍15 浪速15 高千穂16 葛城16 満珠17 千珠17
大和18 武蔵19 摩耶20 鳥海20 高雄21 愛宕21 千代田22 赤城23 八重山23 巖島24
松島24 大島25 千島25 吉野25 橋立26 秋津州27 龍田28 和泉28 豊橋28
第二号水雷艇29 小鷹29 第五号水雷艇30 第十八号水雷艇30 第二十二号水雷艇30
第五号型・第二十四号・第二十六号水雷艇30 操江31 鎮遠31 濟遠32 平遠32 広丙32
鎮辺33 福龍33 湄雲33
- 3. 日露戦争終結まで 解説/島田和実——34
富士34 八島35 敷島36 朝日38 初瀬40 三笠41 浅間43 常磐44 出雲44 磐手45
八雲45 吾妻46 春日47 日進47 須磨48 明石49 高砂50 笠置50 千歳51 新高52
对馬53 音羽54 千早54 宇治55 宮古55 曙56 不知火57 陽炎58 霞59 白雲59
村雨60 白鷹61 第六十七号水雷艇62 雁62 老岐63 丹後64 相模65 周防65 肥前66
石見67 阿蘇69 宗谷70 津軽71 韓崎72 見島73 沖島73 姉川74 満州74 鈴谷75
文月75 皐月75 若宮76 高崎77 松江78 関東79
- 4. 明治の終末まで 解説/湊文衛——80
香取80 鹿島81 薩摩83 安芸85 河内87 撰津88 筑波90 生駒91 鞍馬92 伊吹94 利根95
筑摩96 矢矧98 平戸99 隅田100 伏見100 鳥羽100 淀101 最上102 初春103 海風104
桜104 第一潜水艇105 第六潜水艇106 第七潜水艇107 第八潜水艇108 第十潜水艇108

本文

- 艦船の種類別標準の変遷[1. 明治時代] 石渡幸二編——113
- 日本軍艦年表[1. 明治編] 海老原惇編——114
- 明治の軍艦 中名生正己——124

編集デスクから...

全3冊から成るビクトリアリアルな日本軍艦史の第1冊、明治編を机辺にお送りする。引続いて大正編、昭和編を刊行するわけだが、今回の増刊はちよっと目先を変えて、秋ごろの刊行を目途に、今夏米建国200年を記念してニューヨークで開催される国際観艦式と世界帆船祭の偉観をまとめて報道したいと考えている。もつともこれは、いってみればお天気次第で、折悪しく悪天候にたたられて十分な写真取材ができなかった場合は、断念せざるをえないけれども.....。

注記

- 1) 写真説明中、排水量は原則として常備状態の数値を示したが、初期の艦艇については数値の拠り所が不明のものが少なくない。
- 2) 同じく、長さは原則として垂線間長を示したが、これも初期の艦艇についてはつまびらかでないものがある。
- 3) 大正3～9年戦役という表現は第1次大戦とそれに続くシベリア出兵を内包した時期を示す。
- 4) 写真説明中の要目は主に次の文献によった。
大日本帝国軍艦写真帖；海軍省（昭和30年頃刊）
極秘版廿七八年海戦史別記；海軍軍令部（発行年不詳）
大日本帝国軍艦一覧表（明治40年11月調べ）
（海軍部内資料、発行年不詳）
大正八年度極秘海軍省年報；海軍大臣官房（大正11年9月刊）

[表紙写真] 装甲巡洋艦吾妻
[目次写真] 左からコルベット金剛、砲艦大島、戦艦三笠、戦艦薩摩

昭和51年7月10日印刷
昭和51年7月15日発行
定価980円・送料80円
編集兼発行人/石渡幸二
発行所/株式会社海人社
東京都文京区後楽一丁目5番3号
電話03(813)1839/振替・東京4-37504
印刷所/有限会社島田印刷・奥村印刷株式会社

★本誌掲載の写真・資料その他の無断転載を禁ずる